

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
多機能型事業所 みらくる		2025年 8月 18日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		活動内容により、事業所内の利用する部屋を変えたり、野外施設を活用したりしています。また、職員の配置数等適切な状態にしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	100%			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	43%	57%	バリアフリー化には配慮していますがトイレに手すりがついていない等もまだあります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		毎朝清掃・消毒をしており、清潔な状態を保っています。また、活動ごとに使いやすいよう環境の配備も行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		認められる環境になっており、必要に応じて利用し、落ち着いて過ごす事が出来るよう配慮しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%		職員みんなで日々の振り返りを必ず行っており、情報交換をしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		保護者さんの意見を把握し、少しずつですが、業務の改善を行っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		皆で意見を出し合い、改善を行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	57%	43%	外部評価は未実施です。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		定期的に事業所内での研修を行っており、機会があれば外部の研修にも参加しています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		支援プログラムの公表を行っています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		定期的にアセスメントを行い、ニーズの把握も年に一度は必ず行っています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		全職員でモニタリングを行い、ニーズなども確認し、職員みんなが計画書の作成にかかわっています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		行われています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		初回の利用時に標準化されたアセスメントツールを活用しており、年に一度それとは別にアセスメントを実施しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		設定されています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		その日の活動内容等全職員で立案しています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		固定化しない様、色々な活動を設定しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%		1人1人に合わせて計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		その日の朝に必ずミーティングを行っており、支援内容の確認をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		終了後に、送迎時保護者さんから伺った内容の共有を行っています。振り返りに関しては翌日に行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		記録を取り、次回の支援の改善に活用しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		定期的に行い、見直しを掛けています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%		行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		自分で色々なことを考え、決める事が出来るよう声を掛けしたりして行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		関係機関との情報共有に努めており、連携できるよう整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		お迎えに行った際に担任の先生とお話をする機会がある時はお話をしています。毎週時間割も各家庭から提出いただき、下校時間の確認なども行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%		関係機関との情報共有に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%		まだ対象者が居ません。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%		必要に応じて行っていきます。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	86%	14%	公園などに行った際に同じ空間で遊ぶことはありますが、一緒に設定された活動を行うことは現在はありません。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%		子ども部会への参加をしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		連絡帳や送迎時等を活用しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	57%	43%	現在未実施です。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		契約時にお伝えしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		定期的に面談などを行い、意向を確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		同意を得ています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		連絡帳や電話、LINEや必要に応じて面談を行うなどしています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	86%	14%	未実施です。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		苦情等があった場合は迅速かつ適切に対応をしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		毎月通信を出しており、その月の様子や次の月の活動内容を周知しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		取り扱いには厳重に注意をしています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	86%	14%	事業所の行事に地域の人を招待する等は未実施です。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		策定していますが、保護者さんへの周知が行き届いていない現状がある為、今後の課題となります。	今後周知をどのようにしていくかが課題です。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		年に2回（地震1回、火災1回）訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		確認し、必要に応じては医師の指示所をコピーさせてもらっています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		見学时や契約時等保護者さんに聞き取りを行い、職員間で共有をしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		作成されており、定期的に研修も行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		周知が行き届いていない現状があり、どのように周知していくのが今後の課題となります。	今後周知をどのようにしていくかが課題です。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		共有し、検討しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		事業所内でも研修を行い、外部の研修にも参加し理解を深めています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		行っています。	